



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



11月号



果汁100%のオレンジジュースを、3人で仲良く分けます。ジュースの量は、三分の一ずつになります。果汁も三分の一の33%になります。

「そんなわけないよー！」子どもたちからツッコミの声が聞こえてくるようです。もちろん、ジュースを分けたとき、一人当たりの量は減りますが、果汁の「割合」が変わることはありません。これまでの何人で分けてもジュースが薄くなることはないことを、日常生活の中でたくさん経験しています。

しかし、これを言葉や数字で説明しようとする、とても難しく感じるようです。全国学力学習状況調査で同様の問題が出題されましたが、全国平均正答率は約20%でした。

この問題を解くためには、まずは「割合」についての理解を確かなものにしなければなりません。例えば、割合の25%を小数や分数で表すことができること、これは、紙テープやケーキなどの日常の具体的な場面を考えながら学びます。

そしてもう一つ必要なのは、「自分の考えを相手に正しく伝える力」です。これは、国語科で求められている、「目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりする」とことと関連が深いです。このように算数の問題を解くためには、算数のみならず、国語の力も大切であり、場合によっては社会や理科などの知識も必要になってきます。

学校では、様々な教科で日常の具体的な場面を想起したり、体験したりする活動を意図的に取り入れ、しっかりと定着する力「底力」をつけていきます。

今月も、児童全員が笑顔いっぱい、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

これから、日増しに寒さが深まっていきます。お身体には十分お気を付けてください。

(校長 板坂 和明)



先日、2回目の避難訓練を実施しました。理科室から火災が発生したという想定で実施しました。災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。そのため、定期的に訓練を実施しています。今回、自分のいのちは自分で守ること、「**おさない・かけない・しゃべらない・もどらない**」など避難する際の行動の仕方や避難経路などを確認しました。

火災の放送から、運動場に避難するまで、「お・か・し・も」を守りながら、子どもたちは移動していました。特に、おしゃべりをせず、落ち着いて行動していて立派でした。

また、運動場に避難した時には、静かに話を聞くことができました。避難するときには、先生の指示や放送をしっかりと聞くことはとても大切なことです。このように、避難する行動がしっかりとできたことに、たいへん感心しています。

「災害は忘れたころにやってくる」という言葉がありますが、災害はいつでも、どこでも予期せぬ形で襲ってきます。7月号でも話題にしましたが、ご家庭でも災害時の避難について確認をしておくといいと思います。

(教頭 大谷 幸司)